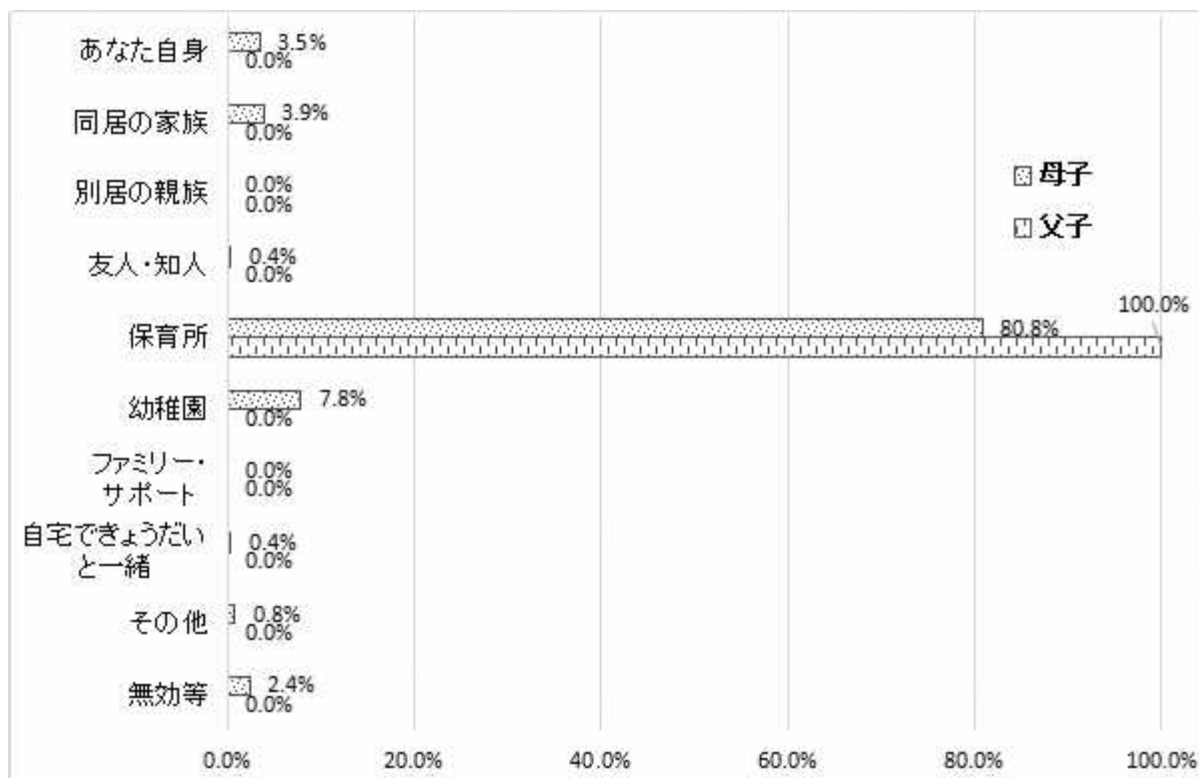


## IV. 子育ての状況

### 1 小学校入学前の子どもの保育

ひとり親が働いている時間帯などに小学校入学前の子の保育をしている人について、母子世帯は「保育所」が80.8%と最も多く、次いで「幼稚園」が7.8%となっている。

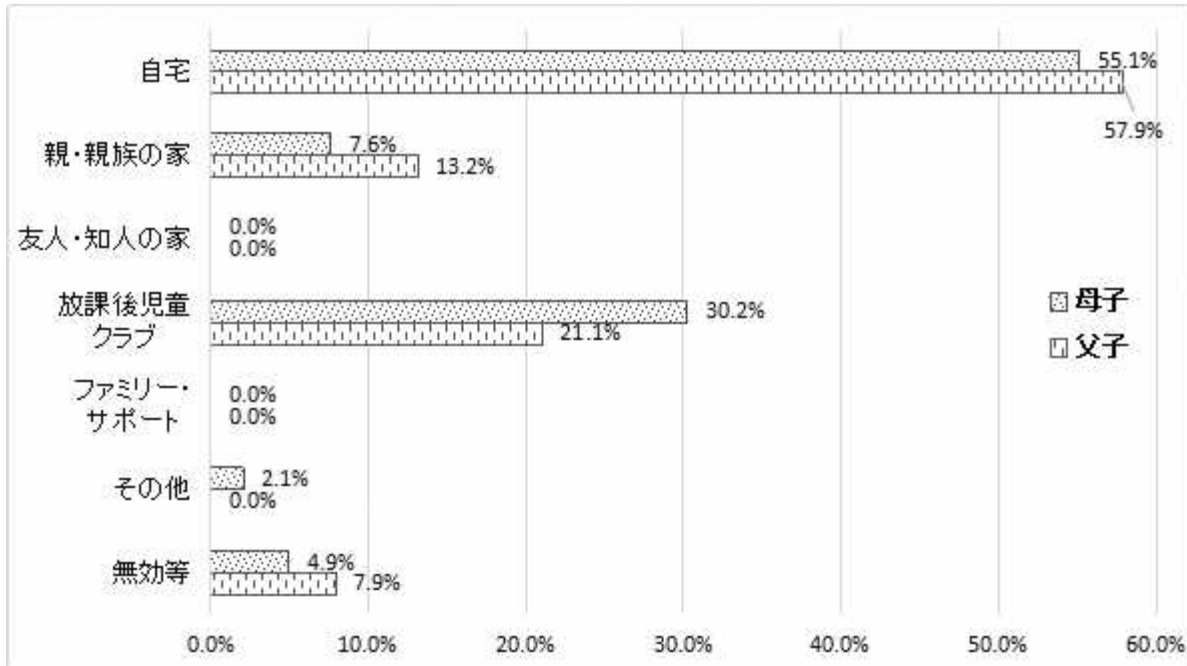
父子世帯は「保育所」が100%となっている。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
あなた自身	9	3.5%	0	0.0%	9	3.4%
同居の家族	10	3.9%	0	0.0%	10	3.8%
別居の親族	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
友人・知人	1	0.4%	0	0.0%	1	0.4%
保育所	206	80.8%	11	100.0%	217	81.6%
幼稚園	20	7.8%	0	0.0%	20	7.5%
ファミリー・サポート	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
自宅できょうだいと一緒に	1	0.4%	0	0.0%	1	0.4%
その他	2	0.8%	0	0.0%	2	0.8%
無効等	6	2.4%	0	0.0%	6	2.3%
総計	255	100.0%	11	100.0%	266	100.0%

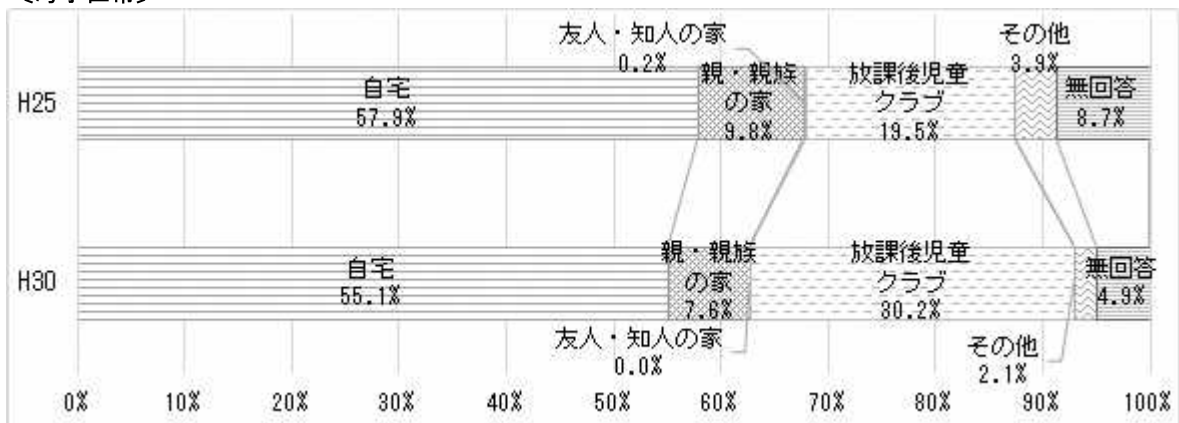
## 2 小学生の子どもの保育（放課後）

平日の放課後に小学生の子が過ごす場所については、母子世帯、父子世帯ともに「自宅」が最も多く、母子世帯では55.1%、父子世帯では57.9%となっており、次いで「放課後児童クラブ」が多く、母子世帯では30.2%、父子世帯では21.1%となっている。

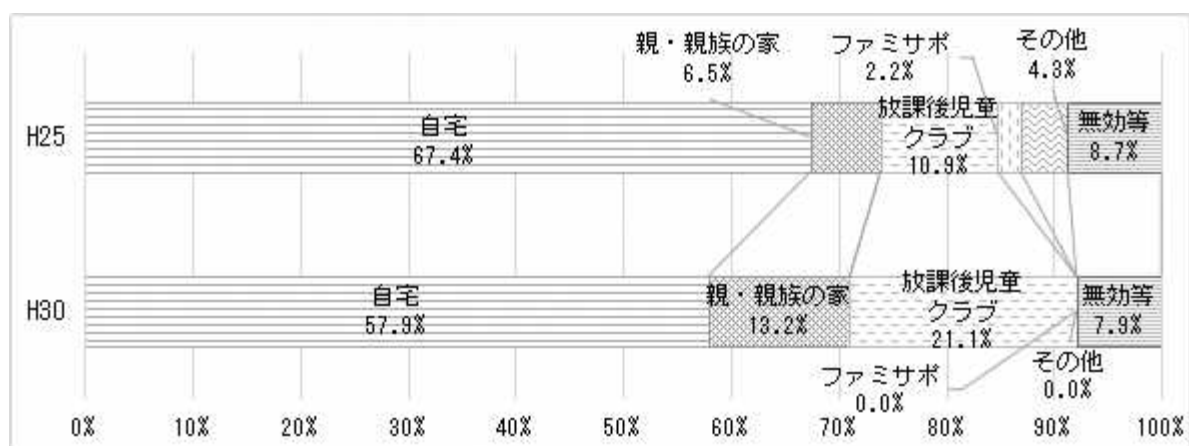


	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
自宅	268	55.1%	22	57.9%	290	55.3%
親・親族の家	37	7.6%	5	13.2%	42	8.0%
友人・知人の家	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
放課後児童クラブ	147	30.2%	8	21.1%	155	29.6%
ファミリー・サポート	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	10	2.1%	0	0.0%	10	1.9%
無効等	24	4.9%	3	7.9%	27	5.2%
総計	486	100.0%	38	100.0%	524	100.0%

今回調査と前回調査の構成比の推移  
〔母子世帯〕



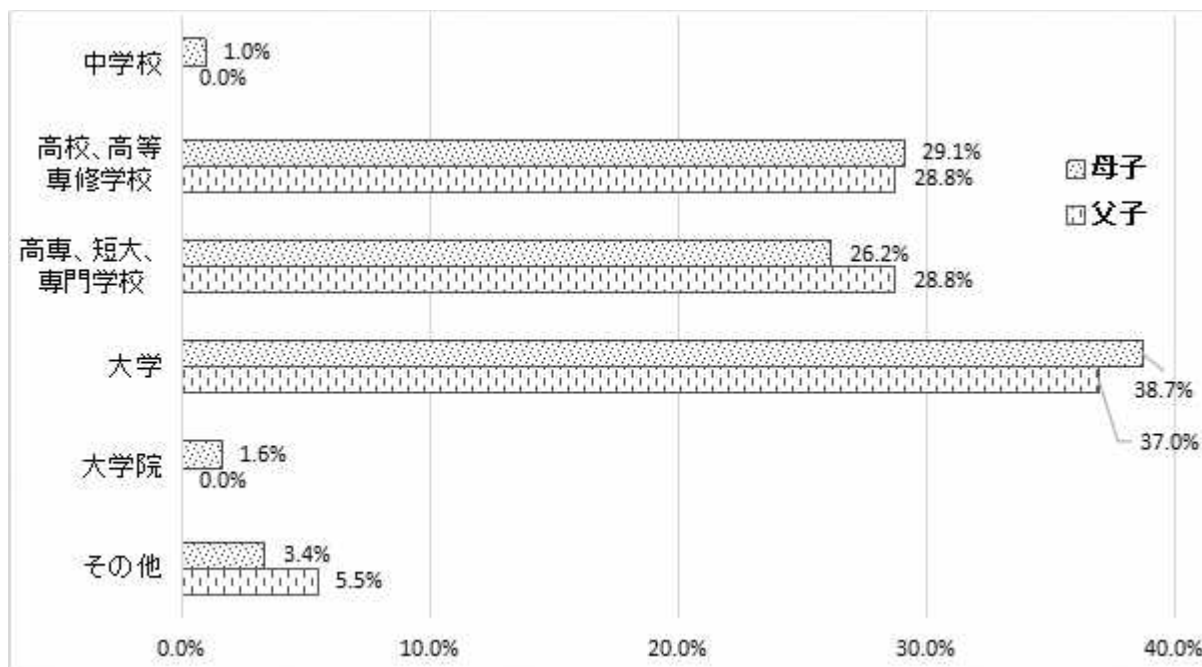
〔父子世帯〕



### 3 子どもの進路

高校生までの子の進学先としてどこまでを考えているかについて、母子世帯は「大学」が最多で26.1%、次いで「高等学校、高等専修学校」が19.6%、「高等専門学校、短期大学、専門学校」が17.7%となっている。

父子世帯は「大学」が最多で25.7%、次いで「高等学校、高等専修学校」と「高等専門学校、短期大学、専門学校」がそれぞれ20.0%となっている。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
中学校	9	1.0%	0	0.0%	9	0.9%
高等学校、高等専修学校	269	29.1%	21	28.8%	290	29.1%
高等専門学校 短期大学、専門学校	242	26.2%	21	28.8%	263	26.4%
大学	358	38.7%	27	37.0%	385	38.6%
大学院	15	1.6%	0	0.0%	15	1.5%
その他	31	3.4%	4	5.5%	35	3.5%
総数	924	100.0%	73	100.0%	997	100.0%

※無回答、無効（母子446、父子32）を除いた子どもの数で算定

#### 4 子どもの学習塾への通塾状況（問30）

##### （1）子どもの学習塾への通塾の有無

小学生のいる世帯について、母子世帯は「通わせている」が16.0%、「通わせていない」が77.4%となっている。

父子世帯は「通わせている」が15.8%、「通わせていない」が68.4%となっている。

中学生のいる世帯について、母子世帯は「通わせている」が40.4%、「通わせていない」が54.5%となっている。

父子世帯は「通わせている」が23.1%、「通わせていない」が73.1%となっている。

高校生のいる世帯について、母子世帯は「通わせている」が11.1%、「通わせていない」が81.9%となっている。

父子世帯は「通わせている」が3.3%、「通わせていない」が80.0%となっている。

##### 〔母子世帯〕

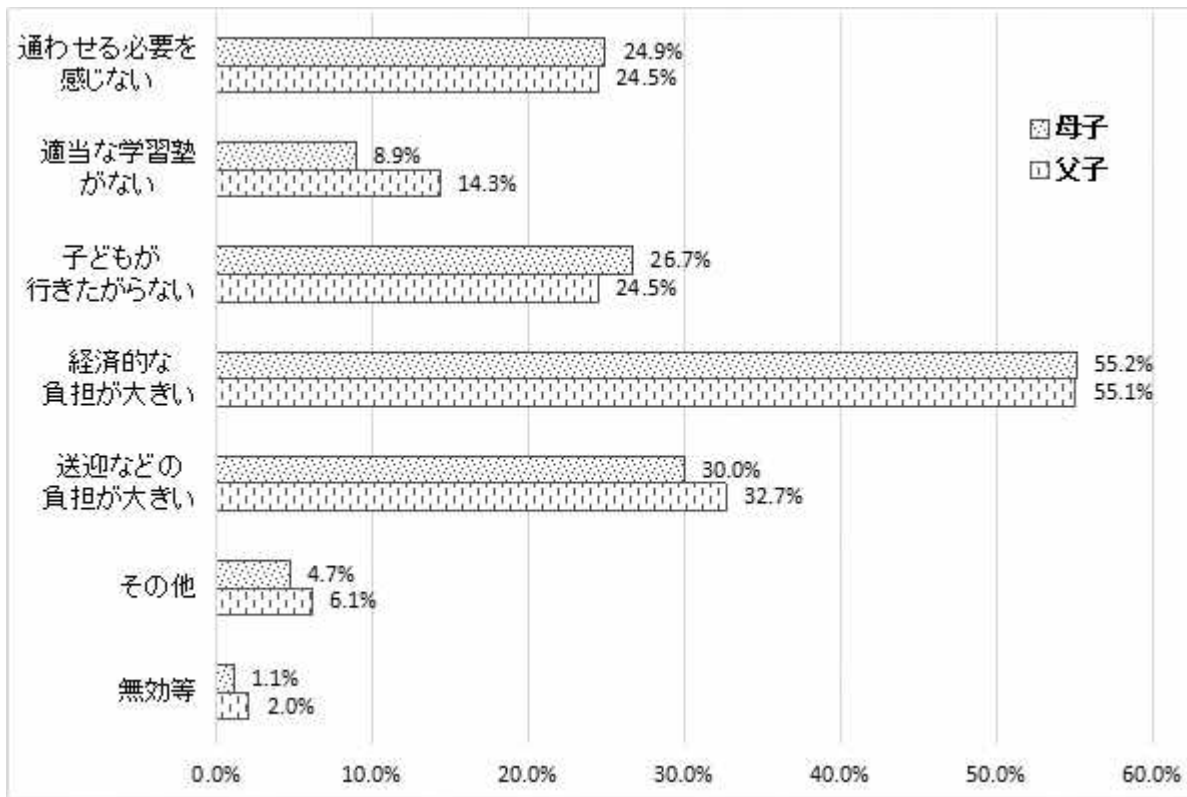
区分	子どもの数	通塾している子の数		通塾していない子の数		無効等	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
小学生	486	78	16.0%	376	77.4%	32	15.8%
中学生	297	120	40.4%	162	54.5%	15	3.8%
高校生	332	37	11.1%	272	81.9%	23	16.7%

##### 〔父子世帯〕

区分	子どもの数	通塾している子の数		通塾していない子の数		無効等	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
小学生	38	6	15.8%	26	68.4%	6	15.8%
中学生	26	6	23.1%	19	73.1%	1	3.8%
高校生	30	1	3.3%	24	80.0%	5	16.7%

(2) 学習塾へ通わせていない理由 (問31)

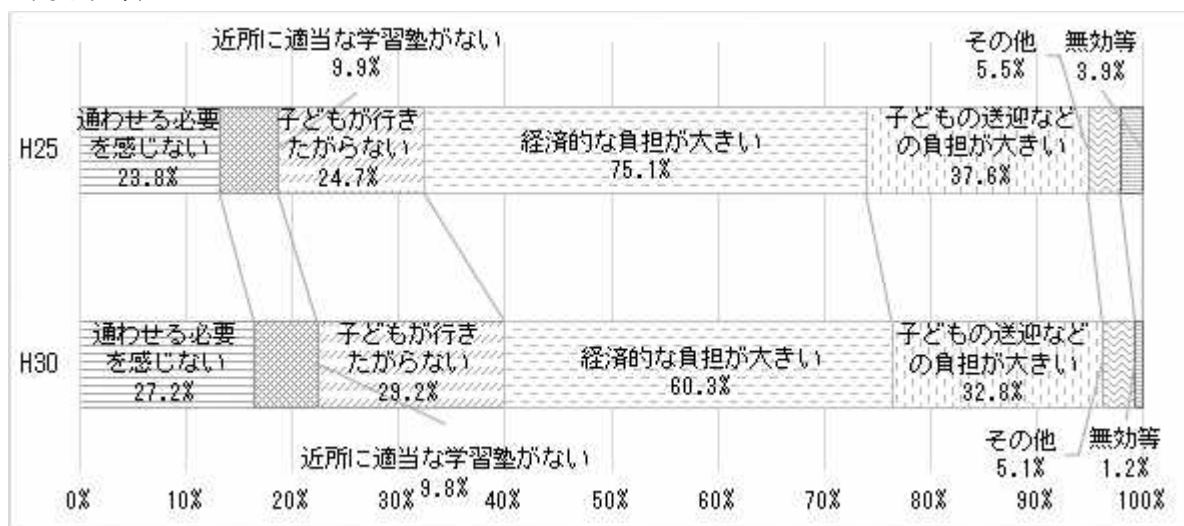
学習塾へ通わせていない理由として、母子世帯、父子世帯とも「経済的な負担が大きいため」が最も多く、母子世帯で60.3%、父子世帯で47.4%となっている。次いで「子どもの送迎など負担が大きいため」が多く、母子世帯で32.8%、父子世帯で28.1%となっている。



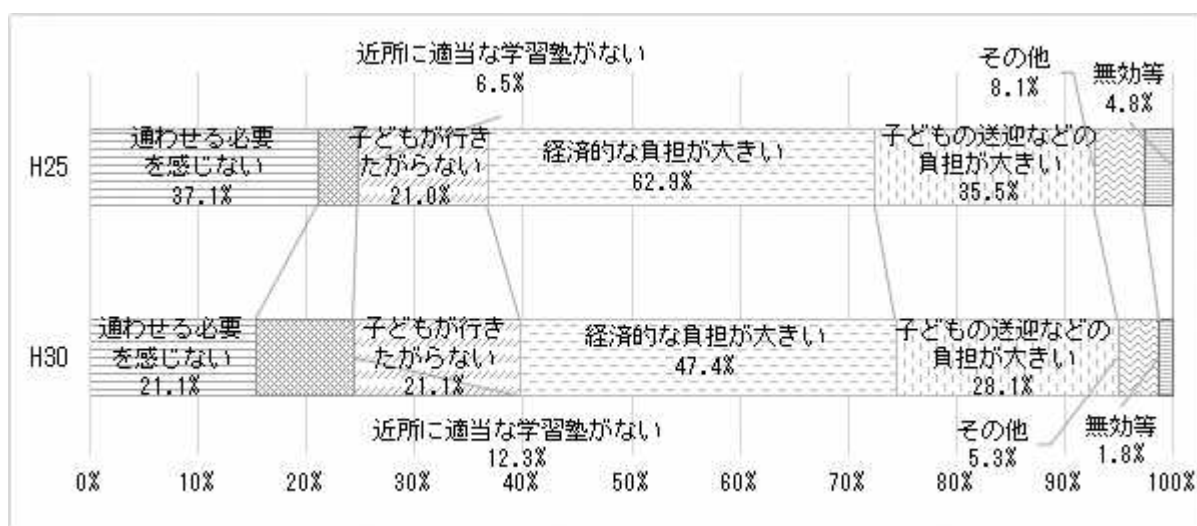
	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
通わせる必要を感じない	181	24.9%	12	24.5%	193	24.9%
近所に適当な学習塾がない	65	8.9%	7	14.3%	72	9.3%
子どもが行きたがらない	194	26.7%	12	24.5%	206	26.5%
経済的な負担が大きい	401	55.2%	27	55.1%	428	55.2%
子どもの送迎などの負担が大きい	218	30.0%	16	32.7%	234	30.2%
その他	34	4.7%	3	6.1%	37	4.8%
無効等	8	1.1%	1	2.0%	9	1.2%
回答者数	727	100.0%	49	100.0%	776	100.0%

今回調査と前回調査の構成比の推移

〔母子世帯〕

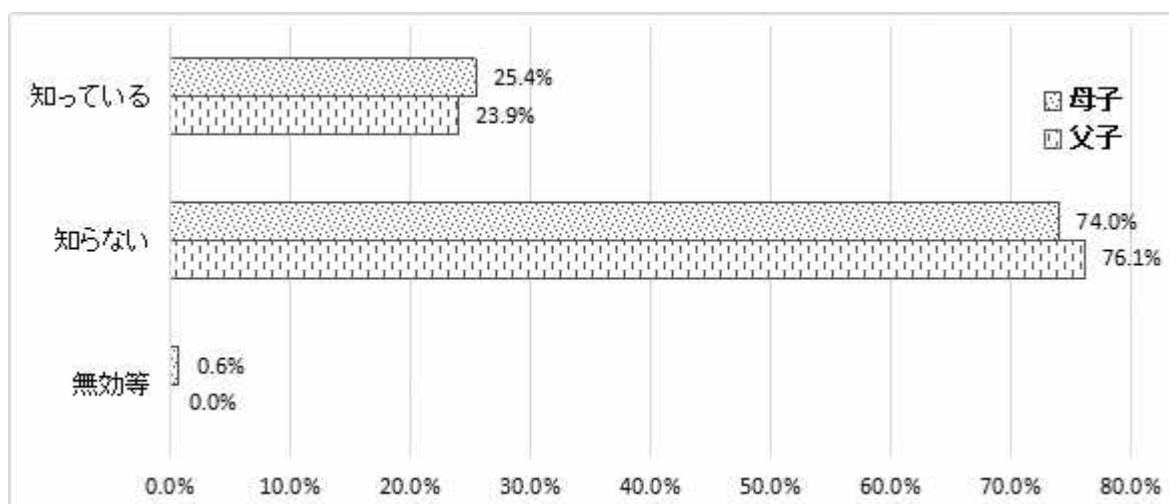


〔父子世帯〕



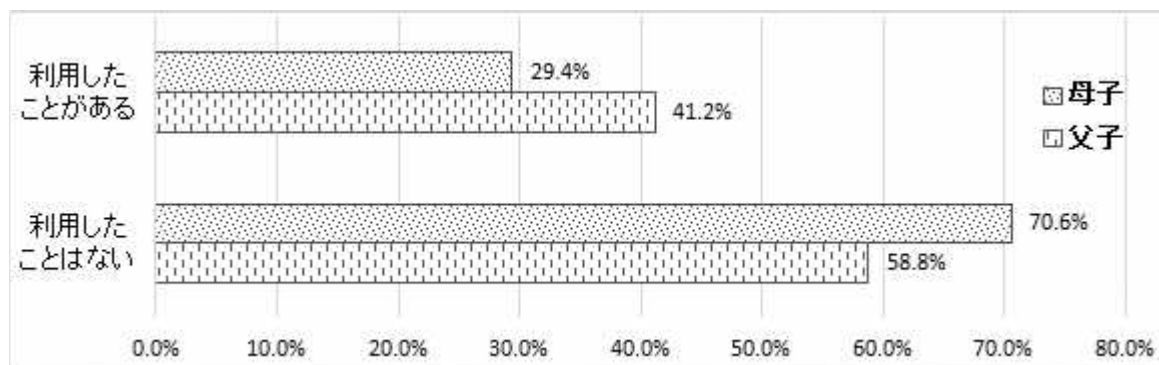
### (3) 市町村の学習支援事業の認知・利用状況（問32）

県内のほとんどの市町村で公民館等の公共施設を使った無料の学習支援事業を行っていることについて、母子世帯は「知っている」が25.4%、「知らなかった」が74.0%となっている。父子世帯は「知っている」が23.9%、「知らなかった」が76.1%となっている。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
知っている	235	25.4%	17	23.9%	252	25.3%
知らない	685	74.0%	54	76.1%	739	74.1%
無効等	6	0.6%		0.0%	6	0.6%
総計	926	100.0%	71	100.0%	997	100.0%

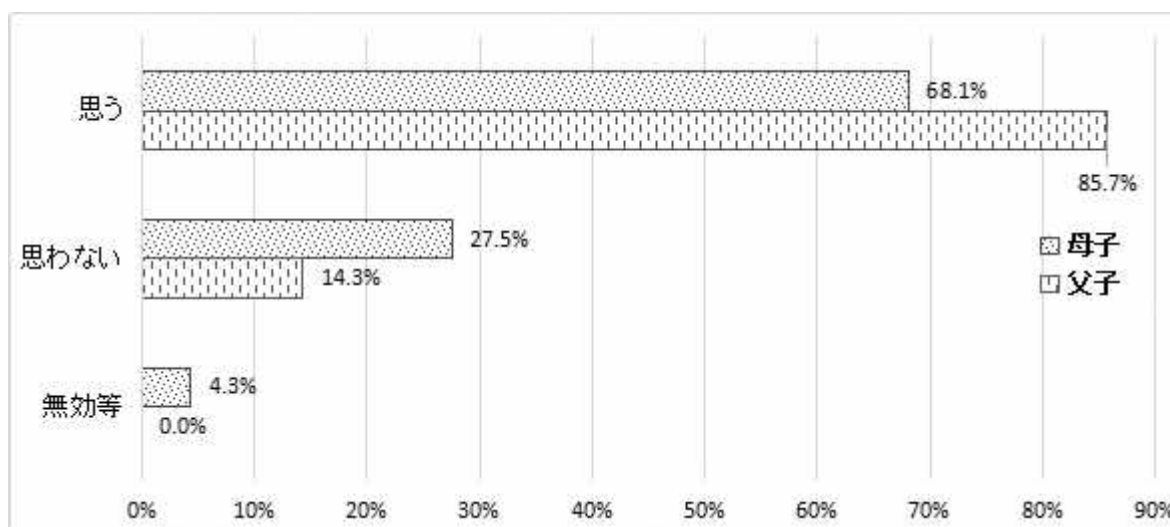
県内のほとんどの市町村で学習支援事業を行っていることを知っていたひとり親のうち、事業を「利用したことがある」と答えたのは、母子世帯で29.4%、父子世帯で41.2%となっている。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
利用したことがある	69	29.4%	7	41.2%	76	30.2%
利用したことはない	166	70.6%	10	58.8%	176	69.8%
総計	235	100.0%	17	100.0%	252	100.0%



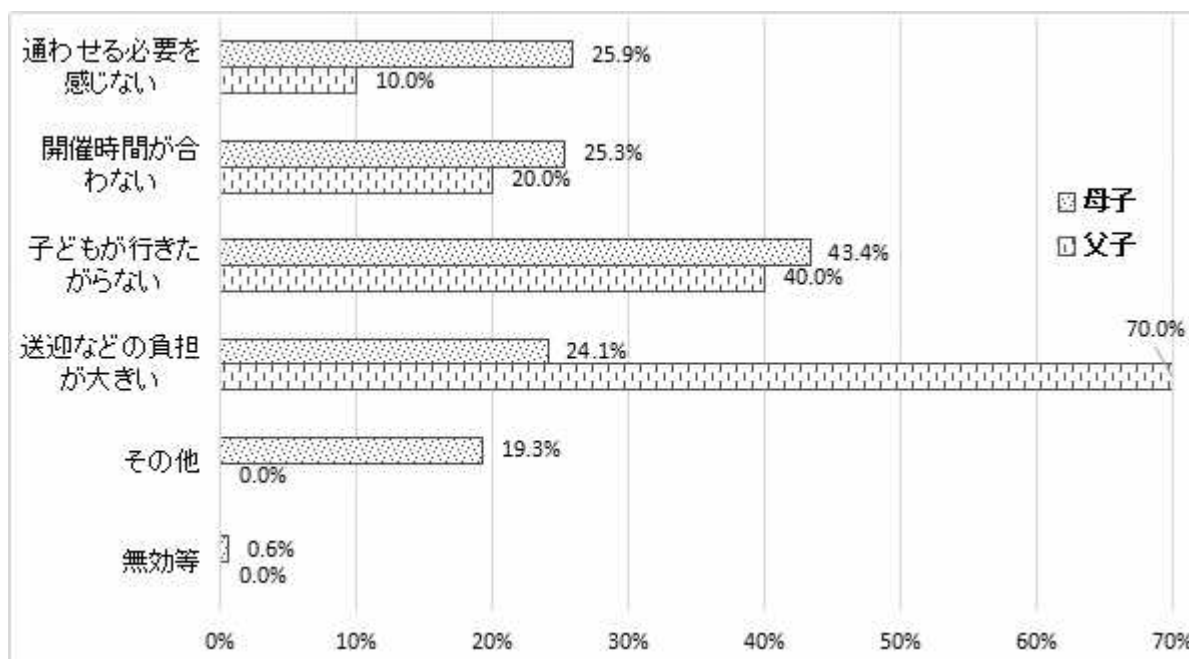
市町村の学習支援事業を利用したことがあるひとり親のうち、事業を「継続して利用したいと思う」と答えたのは、母子世帯で68.1%、父子世帯で85.7%となっている。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
継続利用したいと思う	47	68.1%	6	85.7%	53	69.7%
継続利用したいと思わない	19	27.5%	1	14.3%	20	26.3%
無効等	3	4.3%	0	0.0%	3	3.9%
総計	69	100.0%	7	100.0%	76	100.0%

市町村の学習支援事業について知っているひとり親が事業を利用したことがない理由として、母子世帯では「子どもが行きたがらない」が最多で43.4%、次いで「通わせる必要を感じない」が25.9%、「開催時間が合わない」が25.3%となっている。

父子世帯では「子どもの送迎などの負担が大きい」が最多で70.0%、次いで「子どもが行きたがらない」が40.0%、「開催時間が合わない」が20.0%となっている。

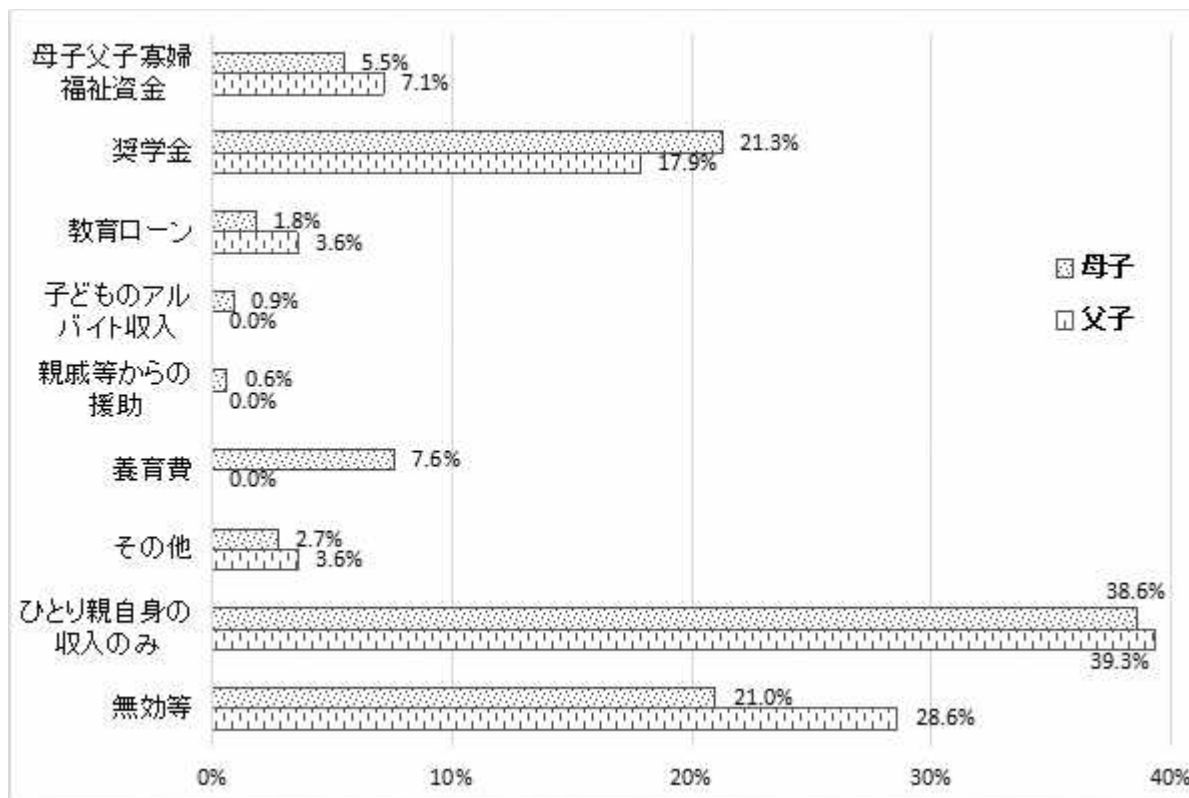


	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
通わせる必要を感じない	43	25.9%	1	10.0%	44	25.0%
開催時間が合わない	42	25.3%	2	20.0%	44	25.0%
子どもが行きたがらない	72	43.4%	4	40.0%	76	43.2%
子どもの送迎などの負担が大きい	40	24.1%	7	70.0%	47	26.7%
その他	32	19.3%	0	0.0%	32	18.2%
無効等	1	0.6%	0	0.0%	1	0.6%
回答者数	166	100.0%	10	100.0%	176	100.0%

## 5 子どもの学費・教育費（問34）

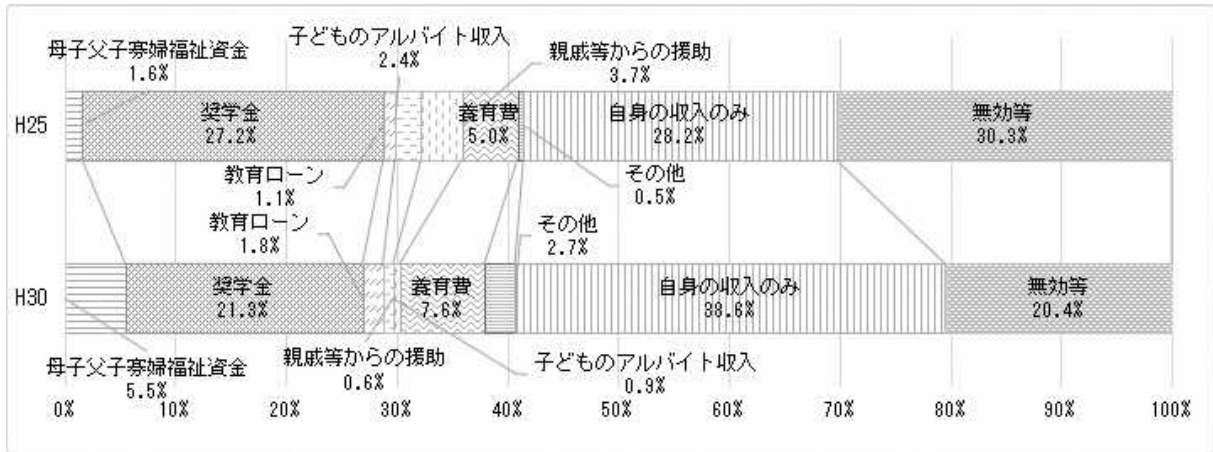
高校以上の学校に在学中の子どもの学費・教育費について、ひとり親自身の収入以外では主に何によってまかなっているかについて、母子世帯では「本人の収入のみ」が最多で38.6%、次いで「奨学金」が21.3%、「養育費」が7.6%となっている。

父子世帯は「本人の収入のみ」が最多で39.3%、次いで「奨学金」が27.9%、「母子父子寡婦福祉資金」が7.1%となっている。



	母子		父子		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
母子父子寡婦福祉資金	18	5.5%	2	7.1%	20	5.6%
奨学金	70	21.3%	5	17.9%	75	21.0%
教育ローン	6	1.8%	1	3.6%	7	2.0%
子どものアルバイト収入	3	0.9%	0	0.0%	3	0.8%
親戚等からの援助	2	0.6%	0	0.0%	2	0.6%
養育費	25	7.6%	0	0.0%	25	7.0%
その他	9	2.7%	1	3.6%	10	2.8%
ひとり親自身の収入のみ	127	38.6%	11	39.3%	138	38.7%
無効等	69	21.0%	8	28.6%	77	21.6%
回答者数	329	100.0%	28	100.0%	29	100.0%

今回調査と前回調査の構成比の推移  
〔母子世帯〕



〔父子世帯〕

